

【計画名：特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡を中核とする地域文化観光推進地域計画】

①計画目標の達成状況

目標項目名(単位)	R2			R3			R4		R5		R6	
	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	目標	実績	目標	実績
来訪者の満足度(日本人)(%)	35	35	100%	35	35	100%	40		45		45	
来訪者の満足度(外国人)(%)	35	35	100%	35	35	100%	40		45		45	
来訪者数(日本人)(人)	90,000	88,000	98%	90,000	21,000	23%	140,000		200,000		200,000	
来訪者数(外国人)(人)	450	440	98%	450	105	23%	700		1,000		1,000	
福井市内観光客入込数(万人)	427	245	57%	436	271	62%	444		500		525	
福井市内外国人宿泊者数(人)	26,000	4,300	17%	26,500	3,000	11%	27,000		70,800		75,000	
福井市内観光消費額(億円)	300	164	55%	306	171	56%	312		349		366	

③計画で取り組んだ事業の進捗状況

事業番号	事業名	R2	R3	事業類型毎の実績額
事業1-①	最新デジタル技術導入事業	基本計画策定	アプリ制作を実施	21.7百万円
事業1-②	体験メニュー充実事業	-	-	
事業2-①	交通手段魅力向上事業	-	バスのラッピングを実施	7.3百万円
事業2-②	利便性増進事業	-	-	
事業3-①	割引クーポン開発事業	-	-	-
事業4-①	インバウンド推進事業	-	-	-
事業5-①	遺跡内通信環境改善事業	Wi-Fi整備	Wi-Fi拡張整備	21.5百万円
事業5-②	体験用施設改修事業	-	体験用メニュー造作物作成	
事業5-③	便益施設充実事業	-	-	
各年度ごとの実績額→		10.7百万円	39.9百万円	50.5百万円

⑤拠点施設の要件に関する取組状況

要件	↓文化観光拠点施設名	
	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館	特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡
・文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介	・出土遺物を中心とする関係資料を、テーマごとに整理して、系統的に展示した。 ・朝倉氏について、画像、古絵図、書状などの史料陳列に加え、模型や映像を用いて、わかりやすく解説した。	・遺跡内のポイント44箇所に解説板を設置している。 ・遺跡案内アプリを導入している。 ・遺跡内に個人客・団体客向けの案内ボランティアを配置している。案内にあたっては、解説用パネルを持ち歩き、発掘が進められてきた様子や、地元ならではの伝承・裏話などを交えて、より深く学びたい来訪者を楽しんでもらえるよう工夫しながら案内している。
・情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介	・自宅にいながら遺跡について学ぶこともできるよう展示物紹介や講座の動画配信を行った。 ・展示物の解説について、「ポケット学芸員」アプリを導入し、音声案内にも対応した。 ・新博物館・遺跡共通で使用できる、AR等の最新技術を活用したアプリを開発している。	・当時の建物をCGで再現するタブレットの有料貸出しを実施している。 ・新博物館・遺跡共通で使用できる、AR等の最新技術を活用したアプリを開発している。
・外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介	・英語版リーフレットを配布し、海外からの来館者に対応している。 ・リーフレットやサインの多言語化については、日本語・英語を中心に、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語についてはQRコードによる多言語情報取得を基本に対応していく。	・英語、中国語、韓国語、フランス語による遺跡の解説情報を、多言語対応観光地紹介サイト「Fukui City TRAVEL GUIDE」に提供している。 ・最新技術を活用したアプリについても、英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語に対応したものを開発している。
・文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築	・地域計画の策定主体である一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会は、(公社)福井県観光連盟をはじめとする観光団体、地元団体、福井県、福井市で構成し(協議会長：県観光連盟会長、事務局：県文化課)、平成16年3月に設立しており、文化観光推進事業や遺跡におけるイベント等の実施にあたり、連携を図りながら進めている。	
・文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析	・一乗谷朝倉氏遺跡の来訪者について、資料館入館者数を把握し、統計整理を行っている。	・一乗谷朝倉氏遺跡を管理する地元団体が、来訪者に対してアンケートを実施し、統計処理を行っている。
・文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立	・一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会の構成員の一員として、文化観光の推進に関する事業方針の決定にかかわっている。	・一乗谷朝倉氏遺跡を管理する地元団体が遺跡の状況を把握し、協議会に報告するなどにより、事業方針の策定やKPI等の設定にあたり、遺跡の実情を反映している。

⑥観光関係者(DMOなど)からの評価

・インバウンドに関して、Wi-Fiの整備は必須であり、コロナ下において効果の検証は難しいが、利便性は向上した。
 ・アプリに関して、外国人は武士に高い興味を持ち、また文化的価値よりもその物語に関心があるため、威厳のある様子や武芸鍛錬のコンテンツは効果が見込まれる。また、一乗谷はもともと自然景観が良く、人工的な立体物が少ないため、本物のみでARが再現される構成は、観光客に感動を与えられる演出である。
 ・アプリは今まで一乗谷に来たことがない人を行ってみたいと思わせるコンテンツが充実している。一乗谷の「一見すると何もない」ことは長所とも短所ともなるが、美しい自然景観を背景に緻密なCGが展開することで長所としている。
 (福井県観光連盟)

②計画目標の達成状況に関する分析・評価

(分析)
 ・来訪者数については、一乗谷朝倉氏遺跡資料館が令和3年8月末で閉館(令和4年10月博物館開館準備のため)したことにより、目標値を下回った。
 ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、緊急事態宣言が発出された影響により、来訪者数や観光客入込数が減少している。それに伴い、観光消費額も目標値を下回った。
 (評価)
 ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う移動制限や観光自粛の影響により、全般的に目標が達成できていない。

④事業の進捗状況に関する分析・評価

(分析)
 ・事業1-①により、令和2年度最新デジタル技術導入事業に関する基本計画を策定した。令和3年度は、基本計画に基づき、遺跡周遊のためのAR・VRアプリを開発している。
 ・事業5-①により、令和2年度Wi-Fiを整備し、遺跡中心部でWi-Fiの提供を行っている。令和3年度は2年度整備した範囲を広げるため、拡張整備を行っている。
 (評価)
 ・事業自体は計画どおり実施できたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、Wi-Fiの利用件数は想定より低い状況。

⑦今後の改善の方向性

・遺跡内通信環境改善実施事業について、遺跡におけるWi-Fi設置の周知を図り、利用率の向上を図る。
 ・新規来訪者数の増加だけでなく、再来訪者増加のための事業に取り組んでいく。